

【重要】必ずお読み下さい

保育園での新型コロナウイルスの対応について【4月11日版】

昨年度末からの当園を起因とするクラスター感染に伴い、ご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。また、自宅待機や登園を控えていただくなどのご協力、誠にありがとうございました。

当園の感染状況は落ち着きを見せているところですが、近隣では依然として複数のクラスター感染が確認されており、予断を許さない状況が続いています。

そのことを受け対応方針の更新と、5月までの行事について、中止させていただきたくお知らせいたします。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

〈保育園から保護者の皆様へのお願い〉

①日常保育での園児の感染予防

あわあわ 手洗いのうた



- 登園前の検温時に37.5度以上の熱があった場合は、登園をご遠慮ください。平熱の高さなど個人差もありますので、各自に合わせた対応に努めます。
- 手洗い、手指消毒を励行します。正しい手洗いを身に付けるため3歳以上児では定期的な手洗い指導を実施してまいります。
- 空気清浄機を増設しました。公益財団法人JKAさんの補助金を活用し、空気循環式紫外線清浄機「エアーリア」10台（ホール2台・ほふく室1台・保育室各1台・その他1台）、「ジアイーノ」1台（たんぼぼルーム）。



②登園を控えていただきたいケース

“感染や濃厚接触者となつてからではなく、なつた場合を事前に想定しておくことが大切です”

- 園児本人が感染した
- 園児本人が、濃厚接触者となった
- 同居家族が、濃厚接触者となった
- 園児本人に発熱(37.5℃以上)症状がある
※発熱があった場合、解熱後1日はご家庭で様子を見ていただくようお願いいたします。
- 同居家族に発熱(37.5℃以上)症状がある

1～3に該当する場合は、園への連絡をお願いいたします。

※登園について迷われる場合は、園にご相談ください。

③県外との往来について

県方針はこちら

- 園児、その家族が往来する場合は県方針を踏まえた上で、感染防止対策の徹底と帰宅後の健康観察を必ず行って下さい。体調に異変を感じる場合は登園を控えて下さい。
- 県外からの訪問、帰省については、出発地の感染状況を確認した上で、事前のワクチン接種(※2～3回)、PCR等の検査を行うようアドバイスしてください。



④引き続きのお願い ※感染予防には基本的対策の徹底が重要です。必ず実施してください！

- 登園時の検温、手指消毒、手荷物・衣服等へのキエルキン散布
- ※園への出入り両方で消毒をお願いしていましたが、降園時必ずの徹底は難しいので、可能な方は実施するようにしてください。

〈直近(4, 5月)行事の中止について〉

- ・保育参加（全クラス）4/16、23・5/14、21 → 中止

代替え案：保育の様子動画発信に加え、全児面接月間(個別面談)の際に保育室をご覧いただくことを計画しています。

- ・5月12日(木) 詩吟勉強会（5歳児） → 中止
- ・5月26日(木) 昔語り（3歳以上児組） → 中止

〈6月の親子遠足について〉

開催日：6月11日（土） 会場：美郷町 大台野広場（ラベンダー園）

今年度の運営方針：・原則、屋外開催とし、現地集合・現地解散とする。

- ・雨天時について、雨具（カッパ・長くつ等）の準備をお願いし、雨天時ならではの催しを企画したい。

例年であれば近隣の体育館での開催としていたが、人数規模を考えると密を回避することが困難。他園では雨天時中止としているところもあるが、できる限り保護者参加行事を開催したいという思いから、雨天決行としたい。

※年齢によって参加が難しい場合は、通常保育の利用可能

※今後の感染状況によっては、6月以降の行事についても、実施方法を変更せざるを得ない場合がありますことをご承知おきください。

--- 【保護者の皆様へ園長からお伝えしたいことがあります(再掲載)】 ---

※令和3年12月27日版に掲載

大前提（コロナをゼロに防ぐことはできない）として言いますと、「全国どこの保育施設でも同様に、いつオミクロン等のコロナ感染が発生してもおかしくない」という状況の中、日々の保育を行っています。感染対策を自分ではできない就学前の子どもたちが多く利用する保育園と、ご自宅と比較しますと、圧倒的に感染症の感染リスクが高いのは保育園であることは言うまでもありません。この点をあらためて保護者の皆様と保育園側とで共有し、感染対策を含めた日々の保育を行なっていくことが大切であるということ、保育園団体の危機管理に関するセミナーで学びました。

ご理解をいただきたいのは、私たち保育園側で「感染対策を一生懸命に行う=コロナの感染発生はしない」ということではないということです。

我々保育園で行なっている感染対策は、コロナだけでなく全般的な感染症が拡大しないよう実施しています。その一環として、前日の体調不良の場合の可能な限りの自宅療養、発熱時の連絡、早期受診のお願いをさせていただいています。

コロナ対策に比重を置きすぎると、子どもたちの育ちを支える保育ができず、経験が不十分になってしまいます。引き続き県・市の対応に沿いながら、with コロナを意識し、感染症対策は①予防と同時に、②発生した場合の対応（できる限り落ち着いて感染拡大の防止を行い、早期に日常保育を取り戻す）に注力できるようにしていくことが、感染症に対する総合対策であると考えています。

引き続き、保育園からのお願いに対しご理解ご協力をくださいますようお願いいたします。